

令和4年度 野田市小中学校児童・生徒自然科学作品展

1 実施日

- (1) 審査：令和4年9月 9日（金）
- (2) 展示：令和4年9月10日（土）・11日（日）

2 出展数

(1) 科学論文

	出品点数	入賞者数	県出展数
小学校	276	55	5
中学校	164	34	3
合計	440	89	8

(2) 科学工夫工作

	出品点数	入賞者数	県出展数
小学校	62	14	7
中学校	14	2	2
合計	76	16	9

(3) 標本

	出品点数	入賞者数
小学校	14	6
中学校	7	3
合計	21	9

(4) 合計

	出品点数	入賞者数	県出展数
小学校	352（前回350）	75	12
中学校	185（前回199）	39	5
合計	537（前回549）	114	17

(5) 来場者

3 小学校講評

(1) 科学論文：低学年

- ・学校代表となった作品は、どの作品も素晴らしくよくまとめられていた。特に賞に入ったものは、力作で1年生の作品とは思えないものだった。やはり、低学年の作品は保護者、家庭の協力があるからこそと感じた。また、夏休みの課題ではあるが、夏休み中だけにとどまらず、長い月日をかけて取り組んでいるものも多かった。
- ・出品された作品は、どの作品もよく考えられており、見応えのあるものばかりだった。昨年度の結果から今年度の研究に発展させた作品や学習の内容から研究を深めたものもあり、取り組みへの意欲が高いと感じた。また、多様なテーマの作品が出品されていると感じた。

(2) 科学論文：中学年

- ・研究の目的がハッキリしているものが多い。
- ・身近なものから題材を見つけている。
- ・まとめ方に工夫がある、(グラフ、図、写真)
- ・新しい着想が多い。
- ・研究への情熱が感じられる。
- ・時間をかけて研究に取り組んでいる。
- ・QRコードを使い動画を見せる工夫があった。

(3) 科学論文：高学年

- ・発想、着眼点は良い。継続性のある研究、反省や今後の展望をしっかりと書いてある作品も多くあり、その点が良かった。研究の内容に加えて、装丁を丁寧に整える事も指導していきたい。ネット、本などの情報やデータを上手に取り入れている様子もみてとれた。
- ・金賞に選ばれた作品などは、気になったことを最後まで突き詰めて、粘り強く探求しようとする態度が感じら素晴らした。
- ・結果からさらに踏み込んだ内容にまで発展させる余地のある作品が多くあり、次年度以降の継続研究につなげられれば良いと感じた。

(4) 科学工夫作品

- ・低学年では、図工の作品にひと工夫して動く工作が多かった。また、子供たちの気持ちを大切にした作品が多くあった。
- ・中学年以上では、モーター、磁石、ゴムの力で動かす工作が多かった。特にリニアモーターやイライラ棒の迷路など、工夫を凝らした作品があった。
- ・深海を探索している様子をモニターに映す素晴らしい作品やこれまでに学習した振り子を利用した時計があった。
- ・標本では、遠方まで足を運び採取したものや継続的に収集しているものがあった。

(5) 標本

- ・身近な自然に興味を持って、丁寧にまとめられた作品が入賞した。
- ・採集したものの名前を調べ、種類分けやその特徴をまとめることができていた。

4 中学校講評

(1) 科学論文：1年生

- ・発想が豊かで自ら興味関心を持って取り組んでいる作品が多かった。また、コロナ禍ということもあり、抗菌や換気をテーマにしているものも見られた。受賞した作品は、テーマ設定が興味深く、実験、観察データが多いものを評価した。まとめ方として、表やグラフを利用しているものや考察で自分の考えをきちんと述べているものを特に評価した。
- ・一方、受賞作品の中でも、結果はととてもいいが考察が少なく内容として薄いものが見られた。自身の考えや想像で補う部分があると更に良い論文になると感じた。今後の学習への興味を深められるように力を伸ばしてほしい。

(2) 科学論文：2年生

- ・カエルやセミなどの生物を長年にわたって観察し、興味のあるテーマを長期研究するなどデータを積み重ね、継続的な研究が複数見られた。
- ・身近な科学的事象を緻密に調べ、証明するための実験を多数行うことで、事象の原因を突き止めなど、努力の跡がうかがわれる作品が多く見られた。今後の課題として、より深く多面的にデータを考察していくことによって質の高い作品づくりができることを期待したい。

(3) 科学論文：3年生

- ・本年度も生徒の熱意が伝わってくる良い作品が数多くあった。
- ・論文の中には、小学校から継続研究しているものがあった。あきらめず、試行錯誤を繰り返して、義務教育の集大成となる作品をまとめ上げた。将来につなげ、理科の楽しさを広めてほしいと感じた。

(4) 科学工夫作品

- ・工夫工作では、ユニークな視点をもった作品が数多くあった。身近にあるものからヒントを得て、丁寧に作成していた。

(5) 標本

- ・どの標本も丁寧なつくりで、真剣さを感じた。
- ・標本では、葉脈の標本、化石、雑草の植生についてまとめた作品が高評価を得ていた。

令和4年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展

1 審査：令和4年10月 4日（火）～10月 7日（金）

展示：令和4年10月15日（土）～10月16日（日）

出品数 小学校 論文 5点、工夫作品 7点

中学校 論文 3点、工夫作品 2点

<科学論文の部>（小学生5名、中学生3名）

小学校1年生	中央小学校	柳澤 凧瑠
小学校4年生	北部小学校	小嶋 菜緒
小学校4年生	みずき小学校	橋場 美咲
小学校5年生	北部小学校	小渕 那智
小学校6年生	北部小学校	安達 由梨奈

中学校1年生	福田中学校	矢口 純怜
中学校2年生	川間中学校	齊藤 響希
中学校3年生	第一中学校	金田 和奏

<科学工夫作品の部>（小学生7名、中学生2名）

小学校2年生	岩木小学校	藤本 煌介
小学校4年生	東部小学校	太田 龍
小学校4年生	北部小学校	馬場 凧叶
小学校5年生	柳沢小学校	藤代 真維
小学校6年生	みずき小学校	海保 樹
小学校6年生	中央小学校	本田 蒼空
小学校6年生	中央小学校	名児耶 桃

中学校1年生	南部中学校	幸松 隼治
中学校2年生	第一中学校	金剛寺 遥大